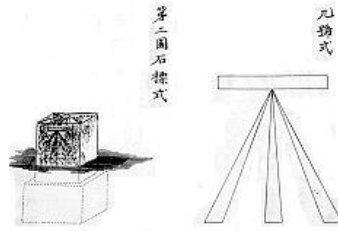


35-1 外国人遊歩規程標石をたどる 2 (11.0km) (未完)



几号水準点標石の規格

地図豆知識：外国人遊歩規程標石とは

突然の話になるが、徳川幕府が各国と結んだ修好通商条約（一八五八・安政五年）のころ、一般外国人の居留地からの外出可能な範囲は、開港場から十里（約四十キロメートル）以内に制限されていた（「外国人遊歩規程」）。

神奈川（現横浜）では、「（北は）六郷川筋を限りとしその他は各方へおおよそ十里」であったから、さらに窮屈なものになっていた。これは、西欧外交団と幕府との度重なる交渉の結果決められたものである。

そして、明治の時代を迎えた。

神奈川県各村々には、これまでの支配所境の標柱に代えて、「^{これより}從是（東西南北）神奈川在留外國人遊歩場十里境内」と書かれた標柱が建てられ、英仏両文で「TREATY-LIMIT. TRAITE-LIMITE.」（酒匂村地内川会所前の例）と記された制札も置かれた（「小田原藩管内外国人遊歩場境界標柱ヲ改ム」明治三 一八七〇年 太政類典）。

外交官には申請に基づき区域外への旅行が認められ、一般外国人の中には遊歩境界を越えて行動する不屈き者もいて、その体験は興味的として話されることがあった。こうした者からの楽しげな情報、神秘的な体験話を聞くにつれ、在日外国人の間に、新たな欲望が沸いてきた。

そこで在日外国人が、自由に行動したい、自由に行動できる範囲を拡大したいとして、遊歩の規程に多少の難癖をつけたとしても不思議ではない。

おりしも函館では、お雇い外国人ブラキストンが、旅行免状不所持のまま規程範囲外を勝手に旅行したとして違反に問われたことなどから、在日外交団から遊歩境界傍示杭の周知と、その距離が不正確であることなどについて外務卿に苦情が寄せられたという（一八七四）

これを受けた外務卿寺島宗則は、太政大臣三條實美あてには、「（外国公使などから）現在条約に決められている十里というのは、厳密な測量によるものでないのではないか。神奈川に建てられた標杭も七、八箇所に過ぎず、そこから一、二歩超えた者を、規程外の地へ許可無く出向いたといって捕捉・処罰されることもある。また、何よりも酒匂川にあ

る標杭は、十里に不足するものであり、さらに西の自然の境である早川付近に建て直せば、十里余となり、（外国人の）不満も無くなるだろうから、検討してほしい」と依頼があった（一八七五）。

直接の担当大臣である内務卿大久保利通は、「酒匂川地点は十里の内とっているが、外務省は何を根拠にしているのか。そもそも、条約には、実測するとも、直線十里とも明記していない（「里数は、各港の奉行所又は御用所より陸路のていどなり」とある）。十里のことも、当時最も信頼のある伊能忠敬の実測図と、英人ジェームスの出版図により確定したものであり、いずれの図においても、酒匂川でさえ十里の外であることは明確である」と回答したが、外務省はこれにも納得しなかった。

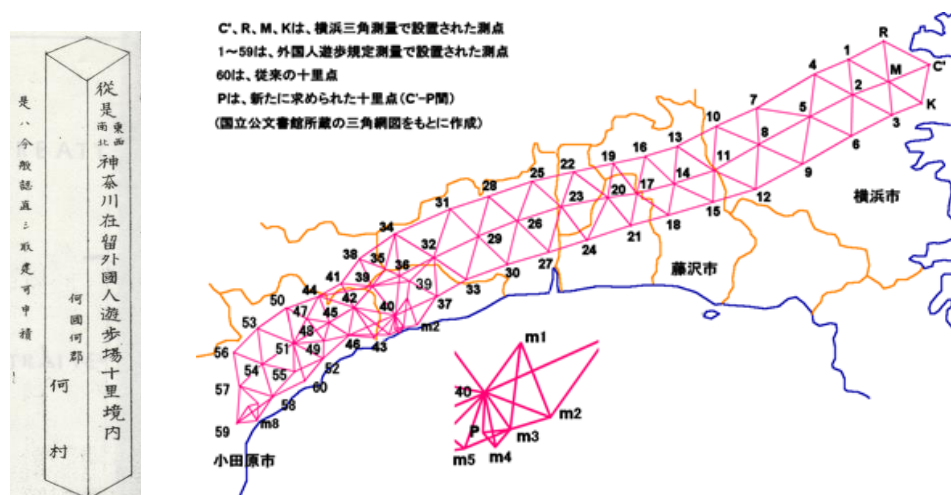
その後、両者の間で、頻繁なやり取りがあったものの、結果として再測量を行なうことになった。

測量は、横浜県庁旧旗揚点から旧幕時代の「外国人遊歩規程標札」までの間に、横浜市内の既設の基準点四点とともに、新設の五九の測点と八の補点により三角鎖が組まれ、それぞれ標石が埋められ、次いで観測が実施された。「外国人遊歩規程測量」であり同標石である。

その結果は、これまでの位置より、さらに開港場に近い、酒匂川の東梅沢付近の山西村字吾妻下が十里地点として求められ、旧標札の位置までの距離は、十一里二一町十二間であることも分かったというから、外国人にとっては無念なことであった。

この「日本各地を自由に行動したい。いや、何としても箱根や熱海温泉に行きたい」としたちょっとした要求で始められた測量の標石が、神奈川県下、横浜市・小田原市間に現存している。

その後、諸各国との間で新通商航海条約が調印され（一八九四・明治二十七年）、発効したことで、外国人の内地旅行が自由になり、外国人遊歩規程は廃止された。



外国人遊歩標柱と国人遊歩規程測量網図

【街歩き解説】（未完）

全国的な三角点整備も進んでいない時代に、しかも外国人からのちょっとした要求から始められた外国人遊歩規程測量に伴う標石を探して、二宮の丘陵道を歩いてみる。

【道順】

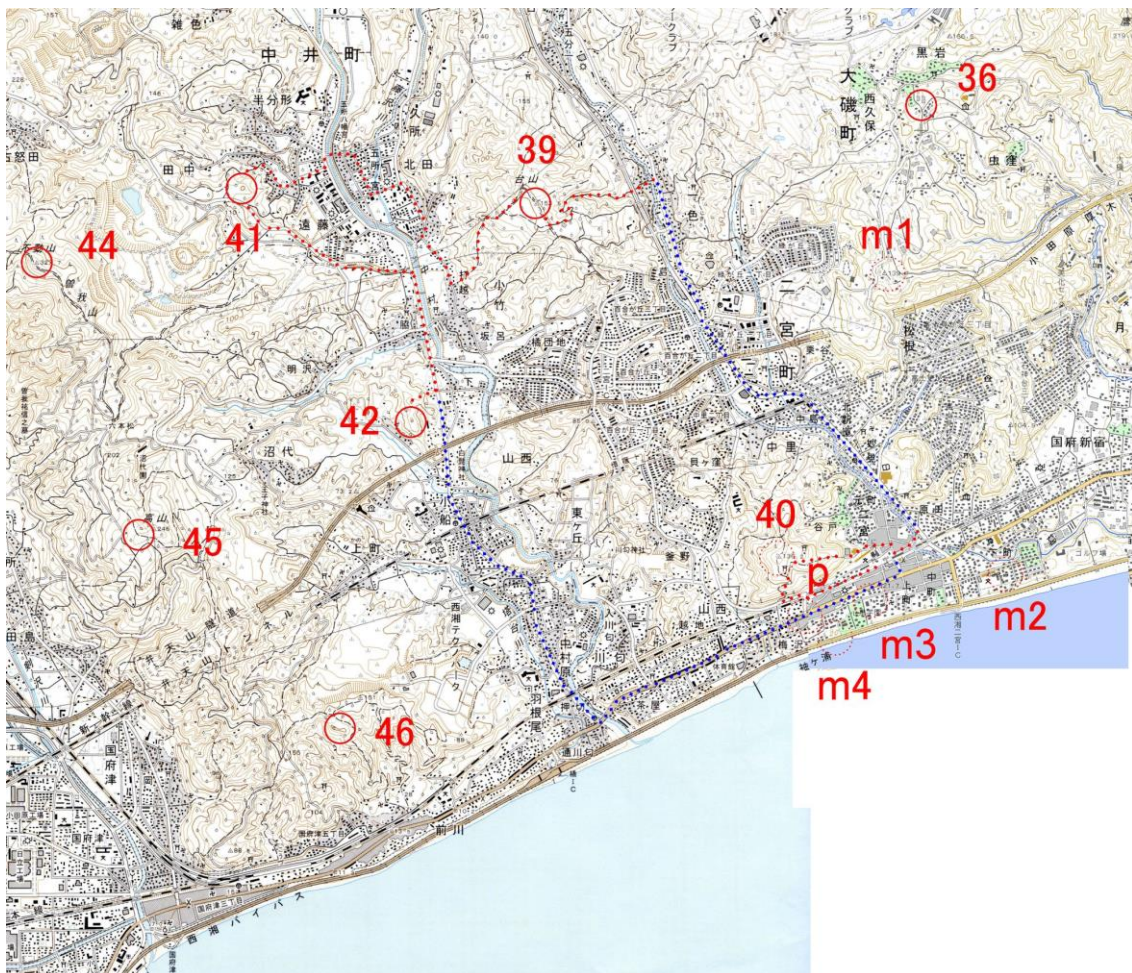
往復バス利用 (8.5km)

JR 二宮駅→下中駐在所前バス停→遊歩 N042 測点→塔の台石仏→遊歩 N041 測点→田中集落→五所八幡宮→台山三角点「小竹」・遊歩 N039 測点→上小竹バス停→JR 二宮駅

あるいは、片道バス利用 (5km+8.5km)

JR 二宮駅→吾妻山公園→川勾玉神社→白髭神社→下中駐在所→遊歩 N042 測点→塔の台石仏→遊歩 N041 測点→田中集落→五所八幡宮→台山三角点「小竹」・遊歩 N039 測点→上小竹バス停→JR 二宮駅

ルートマップ



+ * * * + オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu + * * * +